

区長就任  
の  
ごあいさつ

NAKANO CITY

## 新型コロナウイルス感染症を 乗り越え、その先へ

区長 酒井 直人

この度の中野区長選挙におきまして、多くの区民のみなさんから温かいご支援を賜り、引き続き、区政運営の重責を担わせていただくことになりました。選挙を通じて、区政に対してさまざまなご意見を伺いました。使命と責任の重さに身の引き締まる思いです。

私は、新型コロナウイルス感染症を乗り越え、活動を力強く再開し、経済と活力を取り戻す。そして、更にその先へ。また、誰一人取り残されることのない地域社会を実現していくため、最善を尽くしてまいります。

中野区にとって、今年、区制90周年、憲法擁護・非核都市の宣言40周年という節目であり、これまで培ってきた基礎の下、新たな歩みを進める年となります。国際情勢とその枠組みが激変している不安定な今だからこそ、中野区は、「中野区基本構想」の実現に向けて、区政を前へ、更に前へ進めていかなければなりません。

そのために、まず、区民のみなさんに届く、伝わる区政の情報発信力を向上させます。また、区民のみなさ

とのタウンミーティングを充実させるなど、私自身が更にまちに出て、対話に一層努めてまいります。

私は、「和」という言葉を大事にしています。「和」には、協調的な関係を保つこと、調和がとれていること、足し算(力を合わせる)の和という意味があります。中野の最大の財産は、「人」。中野は「和」を実現できる人たちのまちだと確信しています。区政のさまざまな課題へ対応し、支え、支えられるお互い様の地域社会を実現するためには、パートナーシップが不可欠です。私は、ボトムアップによる区政運営を基本として、「巻き込み型のリーダーシップ」を発揮し、職員とともに、区議会並びに区民のみなさんとの協働・協創で「つながるはじまる なかの」を実現するべく、全力を尽くす決意です。

子どもたちを始め、あらゆる人たちが安心して暮らし活躍することができる中野の未来を一緒に築いてまいります。



### < Profile >

酒井直人(50歳)

1971年岐阜県生まれ。早稲田大学法学部、同大学院法学研究科修了後、中野区に入る。政策室副参事(広報担当)、地域支えあい推進室副参事(地域包括ケア推進担当)などを歴任。2018年6月中野区長に就任。趣味はトロンボーンと料理。タイ料理が得意。家族は妻・娘(中1)